

エコアクション21で築く環境経営

～エコアクション21の概要と取組の留意点～

IGES 持続性センター
エコアクション21中央事務局
森下 研

企業の環境への取り組みは、その本業部分で

環境への取り組みは、単に、その主体が直接的に消費する資源エネルギー量を削減し、環境負荷物質（CO₂、廃棄物等）の排出を減らすだけでは不十分

環境への取組が、「本業部分」における経営の合理化、効率化に繋がり、その取組が組織のマネジメントの中にビルトインされ、環境リスクが管理される

環境への取り組みが、組織の製品・サービスそのものにおいて展開される

真摯に環境への取り組みを行った企業が、社会から評価され発展することが重要

環境問題の現状と課題

- 現在の地球人口は約66.3億人、毎年約8千万人ずつ人口が増加しており、2050年頃には約90億人に達すると予想されている。
- 一人当たりのGDPと、一人当たりの二酸化炭素排出量には、明確な相関関係があり、**豊かになるということは、より沢山の資源とエネルギーを消費し、より沢山の廃棄物を排出する**ということに他ならない。
- 有限な地球環境容量と資源という制約の下、人口増加と世界的な経済発展の結果、地球環境は悪化の一途をたどっており、**人類の持続可能性が脅かされつつある。**

目指すべき社会のあり方

持続可能な開発:

将来世代の欲求を満たしつつ、現在の世代の欲求も満足させるような開発

持続可能な社会

- 環境を構成する大気・水・土壌・生物間の相互関係により形成される諸システムとの間に健全な関係を保ち、それらのシステムに悪影響を与えないことが必要な社会。
- 社会経済活動において可能な限り
 - ①再生可能な資源は、長期的な再生産が可能な範囲で利用し、再生不可能な資源は、他の資源で代替不可能な用途での利用にとどめ、できるだけ再生資源で代替する
 - ②環境負荷の排出を、環境の自浄能力の範囲にとどめる
 - ③人間活動を生態系の機能を維持できる範囲内にとどめる
 - ④不可逆的な生物多様性の減少を回避する

3. 何故、エコアクション21が必要なのか

- ①EA21で、コスト管理と環境負荷低減の一石二鳥
- ②EA21で、環境リスクを管理して、これを回避
- ③EA21で、遵法チェックして、適正経営
- ④EA21で、取引先の拡大（サプライチェーンマネジメントのEMSの連鎖に対応）
- ⑤EA21で、環境コミュニケーションして、信頼度アップ
- ⑥EA21で、環境ビジネスにチャレンジ

大変な時代だからこそ、社会的責任を果たすことは、新たな発展のためのステップ



- 組織におけるCSRの対象には、製品、さらにはその関係企業、売り方、運び方、広告の仕方までもが含まれる
- なぜなら、企業価値は、その企業の総体により決まるものであるから
- 企業価値には、今や、環境やCSRも含まれる

事業者の環境への取組の促進に向けて

持続可能な経済社会の構築に向けては、事業者の自主的な環境への取組が必要不可欠

体制整備

環境に取組む仕組み、手続、体制等

把握・評価

取組状況の把握、評価

公表

取組状況の情報開示

環境マネジメント
システム
ISO14001等

環境会計

環境パフォーマンス指標

環境報告書

信頼性向上の仕組み

エコアクション21（環境経営システム・環境活動レポートガイドライン）

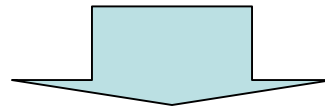
課題

大手企業は対応できるが、人材、資金、技術に乏しい
中小企業の対応は難しい

④環境効率を向上させるための方策

●これからの時代にあっては、
より少ない資源・エネルギー消費と
より少ない廃棄物の排出で、
より良い企業活動の実施
に努めなければならない（環境効率の向上）

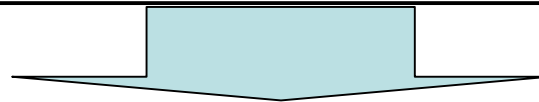
- 資源・エネルギーの投入量を減らす
- 廃棄物の発生量を減らす
- 製品・サービスの質・機能を向上させる



- 生産性を向上させる
- 歩留まりを改善させる
- より付加価値の高いものを生産する

⑤環境効率の向上のためのEMS

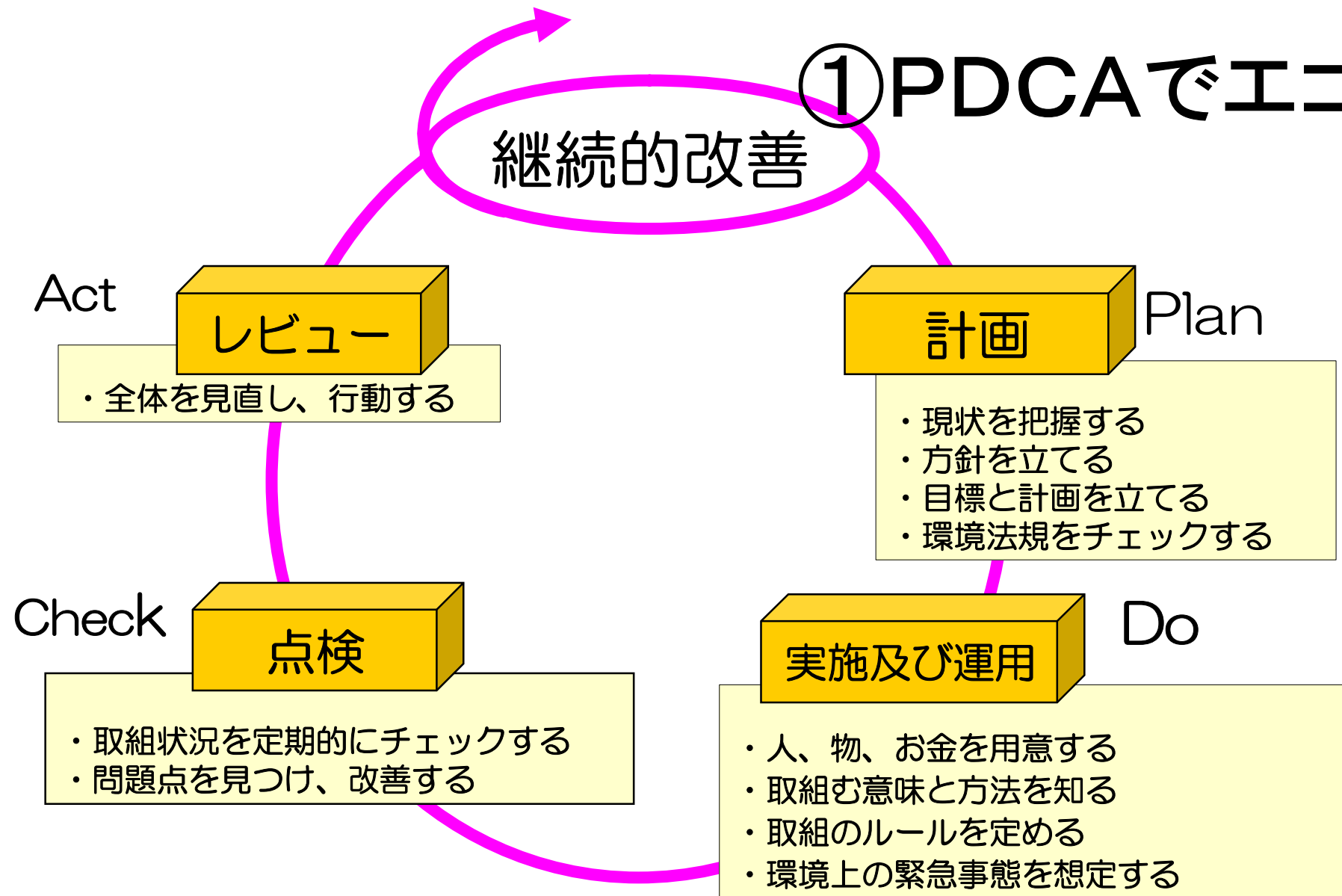
- 事業活動のinput & output を見直す
- 事業所内の無理や無駄を探す
- 従業員の意識を高める
- 適切な目標を立て、進捗状況を評価する
- 責任の所在、役割を明確にする
- できない場合の真の原因を探す
- 地道な活動を積み重ね、継続させる



環境マネジメントシステムを構築・運用する
業務の効率化・合理化を意識する

①PDCAでエコ

継続的改善



6. エコアクション21の概要

①エコアクション21の特徴

◆あらゆる組織が容易に取り組める環境経営システム（環境マネジメントシステム）

- －中小事業者等の環境への取組を促進するとともに、その取組を効果的・効率的に実施するため、PDCAサイクルをベースとした、中小事業者でも取組みやすい環境経営システムのあり方をガイドラインとして規定

◆必要な環境への取組を規定（環境パフォーマンス評価）

- －エコアクション21では、必ず把握すべき項目として、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量及び総排水量を規定。さらに、必ず取り組まなければならない行動として、省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル及び節水の取組を規定。これらの取組は、環境経営に当たっての必須の要件。

◆環境コミュニケーションにも取り組む（環境報告）

- －事業者が環境への取組状況等を公表する環境コミュニケーションは、社会のニーズであるとともに、自らの環境活動を推進し、さらには社会からの信頼を得るための必要不可欠の要素。そこで、環境活動レポートの作成と公表を必須の要素として規定。

②認証・登録制度の実施主体と目的

- ◆財団法人地球環境戦略研究機関 持続性センター(IGES-CfS)は、2004年10月から、ガイドラインに沿って環境に取り組む事業者を認証・登録する「エコアクション21認証・登録制度」を実施

- ◆エコアクション21は、広範な中小企業などの環境への取組を推進し、もって持続可能な社会の実現に資することを目的としています。

④取組の対象サイトと活動の考え方

全組織・全活動での取組が原則

○取組の対象サイトについて

⇒**カフェテラス認証の防止**:例えば工場の中の食堂や事務部門だけを対象に認証を取得し、あたかも工場全体で認証を取得したように見せかけること

★最も重要な、かつ最も環境負荷が大きい、「本業部門」が認証取得サイトに含まれてなければならない

★基本的に組織全体で認証を取得することが望ましい。

○取組の対象活動について

⇒**チェリーピッキングの防止**:例えば部門としては工場全体を対象としていながら、環境への取組を実施する活動は工場の事務部門の「紙・ごみ・電気」だけを対象とし、本業部門の環境負荷が削減の対象となっていないこと。サクランボの山の中から、美味しそうな一部だけを摘み食いすることの意。

★「本業部門」の活動を対象として取組を実施することが望ましい。

◎諸般の事情により、当初の認証取得に当たっては、組織の一部のみを対象とする場合は、環境活動レポートの中で、将来的には(目標時期を明示)組織全体で認証を取得する旨を明確に記載すること

⑤エコアクション21ガイドラインの概要

第2章 環境への負荷の自己チェック

選んだ項目の環境負荷をチェック表を使ってチェックする

- ・換算が必要な項目については、簡易な換算係数を提示
- ・表に数字を入れて環境負荷を計算

環境への負荷の自己チェックシート(抜粋イメージ)

① 総エネルギー投入量 (MJ)		年(年 月 ~ 年 月)				
		単位	合計(年)			単位発熱量 (B)
			使用量・消費量 (A)	エネルギー量(MJ) (A×B)	割合 (%)	
購入電力		kWh				9.83 (MJ/kWh)
化石燃料	灯油	L				36.7 (MJ/l)
	重油	L				39.1 (MJ/l)
	都市ガス	Nm3				41.1 (MJ/Nm³)
	液化天然ガス(LNG)	kg				54.5 (MJ/kg)
	液化石油ガス(LPG)	kg				50.2 (MJ/kg)

第3章 環境への取組の自己チェック

選んだ項目に関する取組をチェック表を使ってチェックする

- ・項目ごとに必要と思われる取組を掲載
- ・実施している取組具合に応じてチェック(○、△、×など)

環境への取組の自己チェック(抜粋イメージ)

1) 省エネルギー、新エネルギー使用の拡大		重要度	取組	評価点
	風力発電、水力発電、地熱発電、燃料電池等の新エネルギーの導入をしている			—
	太陽電池により太陽エネルギーを電気として利用している			—
	天然ガスを利用している			—
	コージェネレーション（発電の際の排熱を利用すること）システムを導入している			—
	地域冷暖房システムや地域熱供給システムの利用や、ソーラー給湯システム等により太陽エネルギーを給湯、暖房に利用している			—
	給湯設備において、断熱化等により省エネルギーを進めている			—
	省エネルギー型空調設備を積極的に導入している			—
	ごみ焼却熱等の廃熱を利用している			—
	コピー機、パソコン、プリンター等のOA機器について、エネルギー効率をチェックし、エネルギー効率の高い機器を積極的に導入している			—

第4章 環境経営システムガイドライン

- ①環境方針の作成
- ②環境負荷と取組状況の把握等(二酸化炭素、廃棄物、排水量は必須)
- ③環境関連法規等のとりまとめ
- ④環境目標及び環境活動計画の策定
- ⑤実施体制の構築
- ⑥教育・訓練の実施
- ⑦環境コミュニケーション
- ⑧実施及び運用
- ⑨環境上の緊急事態への準備・対応
- ⑩取組状況の確認・問題の是正
- ⑪環境関連文書・記録の作成・整理
- ⑫代表者による全体の評価・見直し

第5章 環境活動レポートガイドライン

●とりまとめる事項

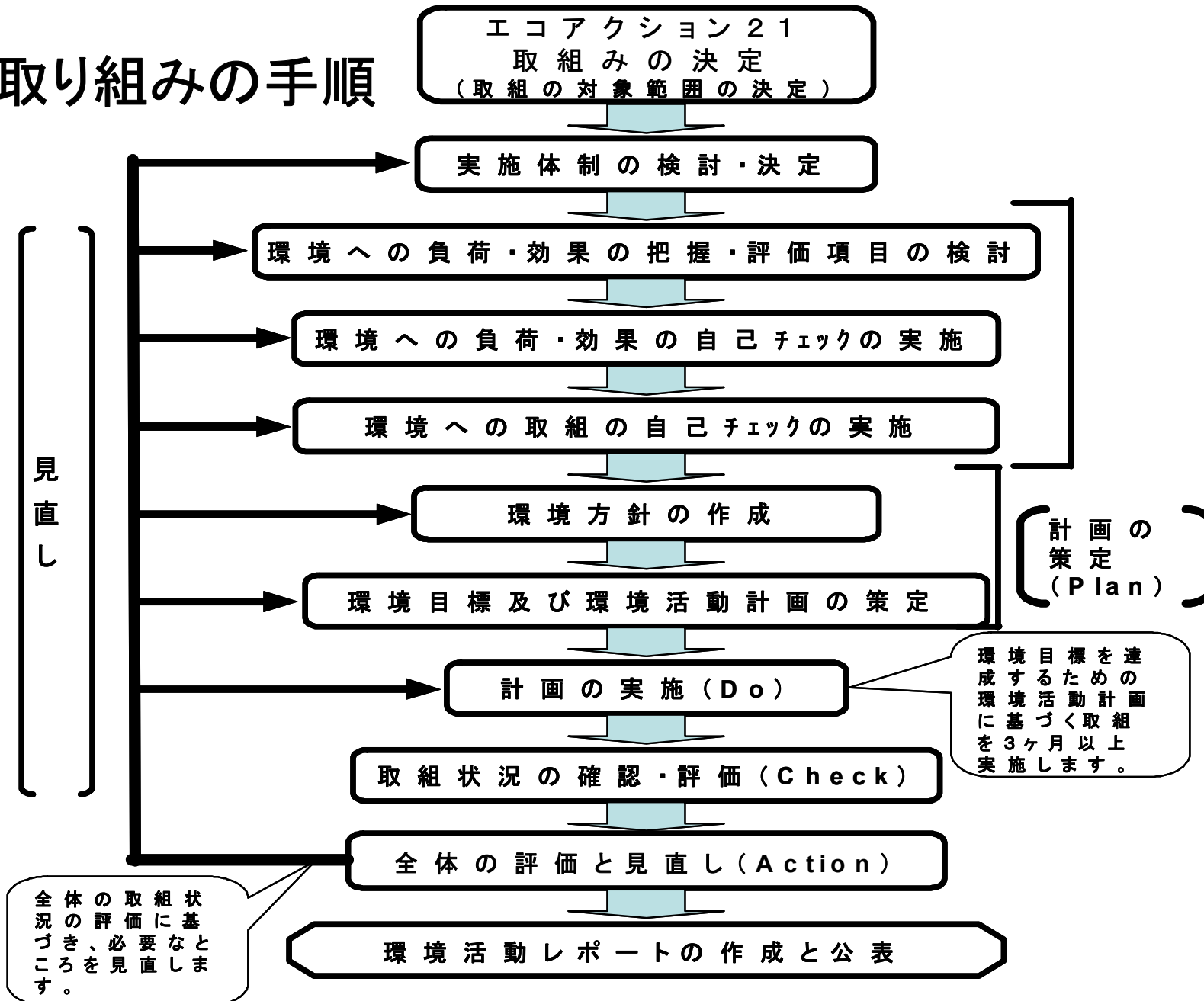
- ①環境方針
- ②環境目標とその実績
- ③主要な環境活動計画の内容
- ④環境活動の取組結果の評価
- ⑤環境関連法規への違反、訴訟等の有無

●公表

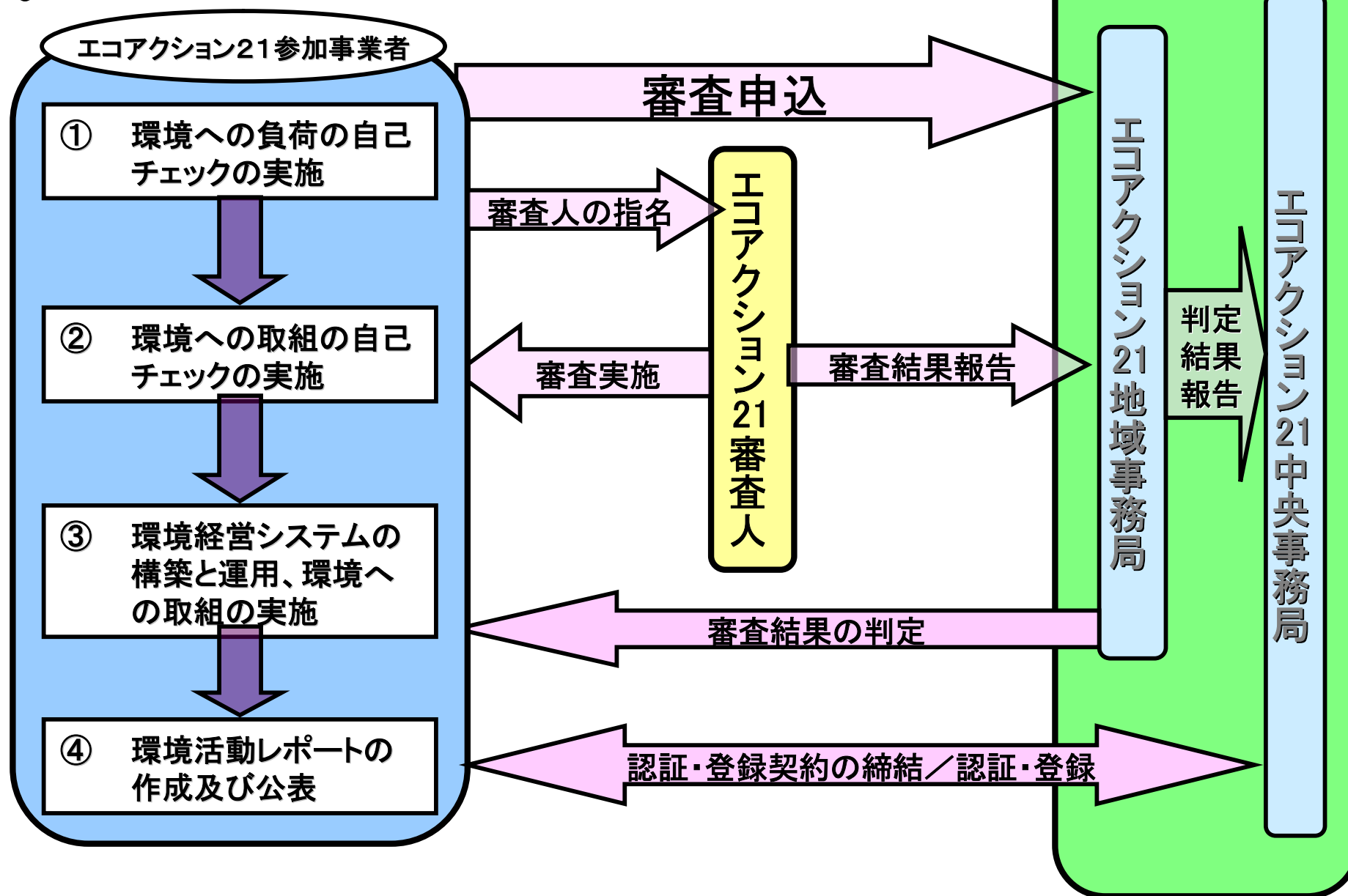
- ・外部の者も閲覧(事務局のHPでも公表)

図 4 エコアクション 21 の 取 組 フ ロ ー

⑥取り組みの手順



⑦エコアクション21認証・登録制度



⑧エコアクション21に対してのよくある誤解

①エコアクション21では、どんな内容でも、省エネ、省資源、節水の取組をしていればいいのですか？

事業者のエコアクション21の取組に当たって最も重要なことは「事業者が自らの事業活動（基本的には本業部分であり、活動だけでなく製品やサービスも含む）と環境との係わりに気づき、事業活動に伴う環境への負荷を減らすために、目標を設定して、計画的に取り組み、その結果を評価して見直し、これを実行して、環境経営システムと、適切な環境への取組を継続的に改善していく」ことです。

ですから、事業者の事業活動の内容（業種・業態・規模）と、対象組織及び範囲、環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの内容、環境方針・環境目標・環境活動計画の内容、環境活動レポートの内容が、整合していなければ認証を取得することはできません。

例えば製造業では、製品の環境負荷削減、環境保全に資する製品の開発・販売、グリーン購入などが、小売業では、環境保全に資する製品の販売、包装の削減、消費者への情報提供などが求められます。

②エコアクション21の認証は中小企業では難しいのではないですか？

いいえ、実際にエコアクション21の認証を取得した事業者の、20%が従業員10人以下、38%が30人以下の企業です。エコアクション21では、事業者の業種、業態、規模に応じた取組の実施、環境マネジメントシステムの構築・運用を求めていますので、中小企業、小規模事業者でも無理なく取り組むことができます。

③エコアクション21は、ISO14001の簡易版なのですか？

いいえ、エコアクション21では、環境マネジメントシステムとして、一般に必要と考えられる要素は全て網羅されていますので、決して、簡易版ではありません。

環境マネジメントシステムは、それそのものが目的ではなく、あくまでも環境への取組を適切に行うための手段です。エコアクション21では、事業者の業種、業態、規模に合わせ、最も効率的・効果的なマネジメントシステムを構築することを重視し、作業のための作業や形式的な作業は求めています。

また、業種、業態、規模に応じた適切な環境への取組を行い、実際に二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量を把握し、これらの環境負荷を削減すること、環境活動レポートを作成し、情報を公開することを要求事項としていますので、その点ではISO14001よりも厳しいものであると言えます。

④間借りの賃貸オフィスなのですが、CO2排出量などは必ず把握しなければいけないのですか？

ビルの一室を賃貸しているオフィスの場合、電気使用量や水道使用量は共益費に含まれ、個別には把握できないこともあります。このような場合には、無理に把握することまでは求めています。省エネや節水の活動に関する目標を定め、その取組を適切に行うことで代替することができます。

⑤取引先からエコアクション21の認証取得を求められていますが、その取引に関係する部門のみで認証を取得したいのですが、可能でしょうか？

いいえ、エコアクション21では、全社、全組織で認証取得をしていただくことを基本としています。但し、最初から全社を対象とするのではなく、一部の部門から取組を始め、段階的に対象範囲を拡大していくこともできます。その場合は、環境活動レポートの中に、対象組織の拡大の計画を明記していただくことと、原則として環境負荷の大きい組織から取組を始めていただくことをお願いしています。

⑥ガイドラインに基づき取組をしましたが、この取組で本当にいいか、よく分からず不安です

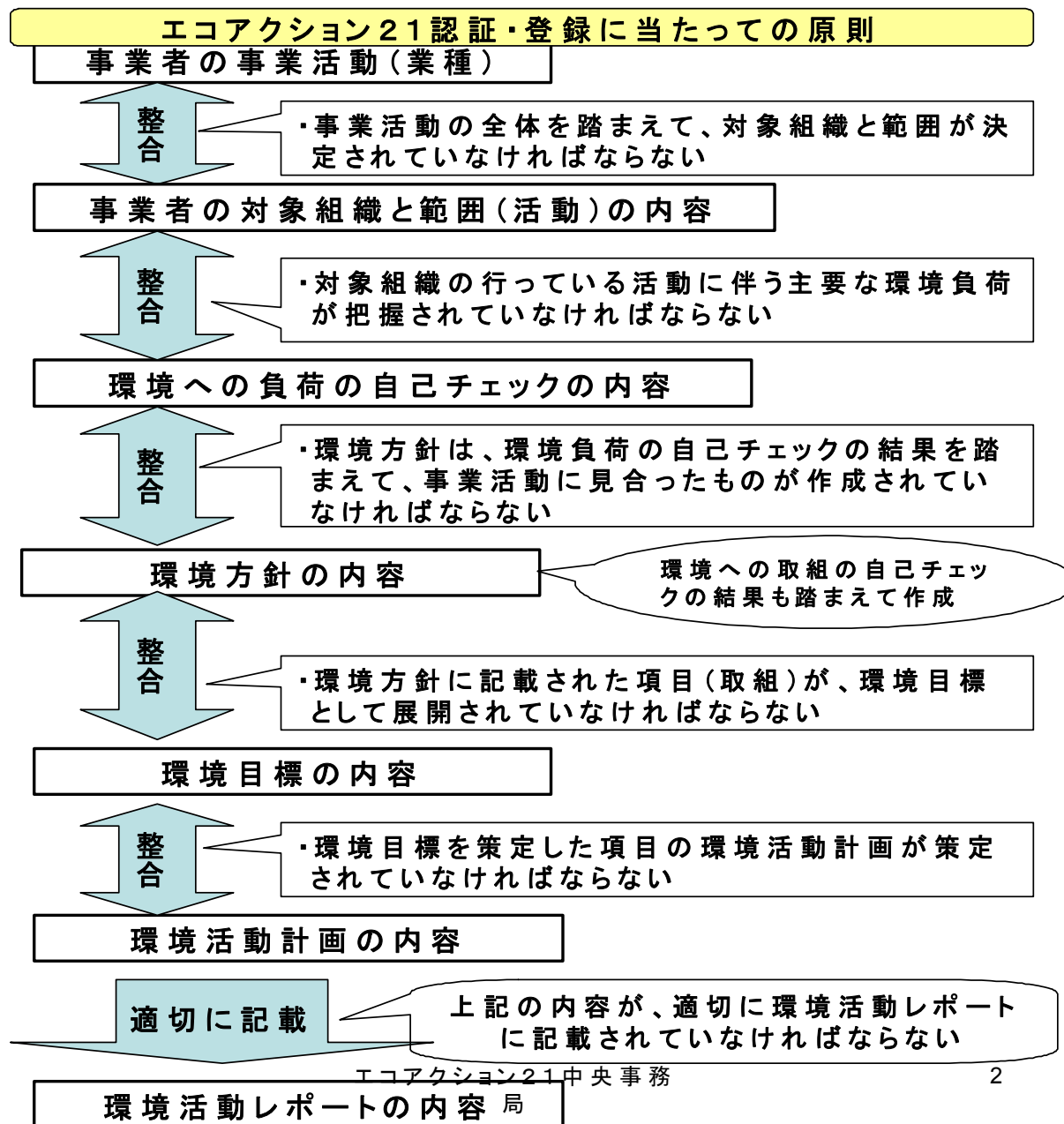
エコアクション21では、審査の際に審査人が、事業者の業種、業態、規模に応じた環境マネジメントシステムや環境への取組のあり方について指導、助言を行い、より良い取組を行っていただくことを目的としています。審査人に積極的にご相談下さい。審査人は環境関連では日本で最も厳しい試験に合格したプロフェッショナルです。

⑦エコアクション21の審査の申込や問い合わせは、全て東京の中央事務局にしなければならないのでしょうか？また、審査人は東京から来られるのでしょうか？

いいえ、エコアクション21では、全国34都道府県に46の地域事務局があり、審査申込の受付、審査結果の判定、問い合わせ対応、セミナー開催等の普及活動を行っていますので、最寄りの地域事務局で全て対応可能です。また、審査人も全国に約750名いますので、最寄りの審査人に審査を依頼することができます。エコアクション21は基本的に、中央集権ではなく、地方分権の運営体制となっています。

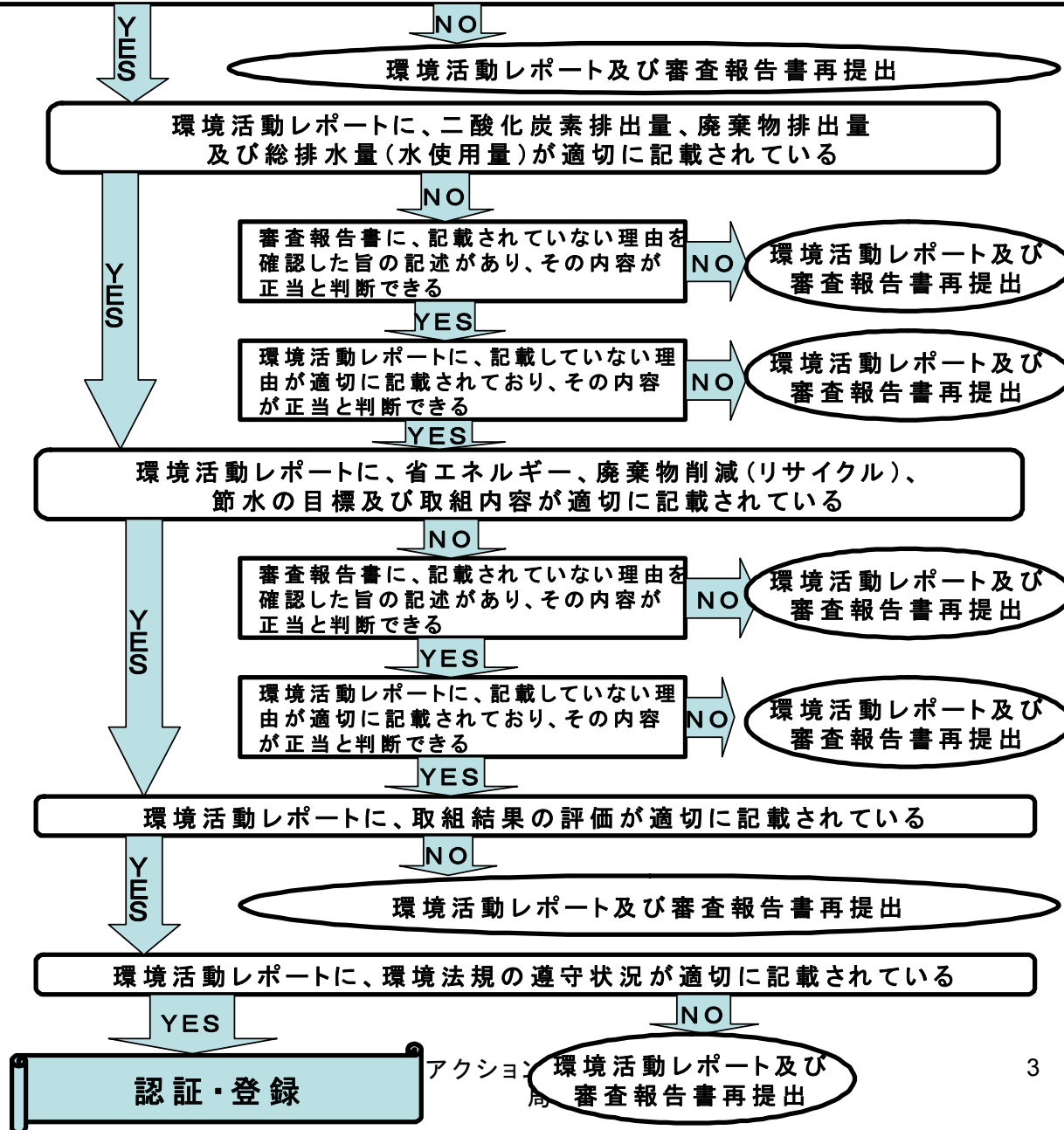
①4

認証・登録 の基本的 要件

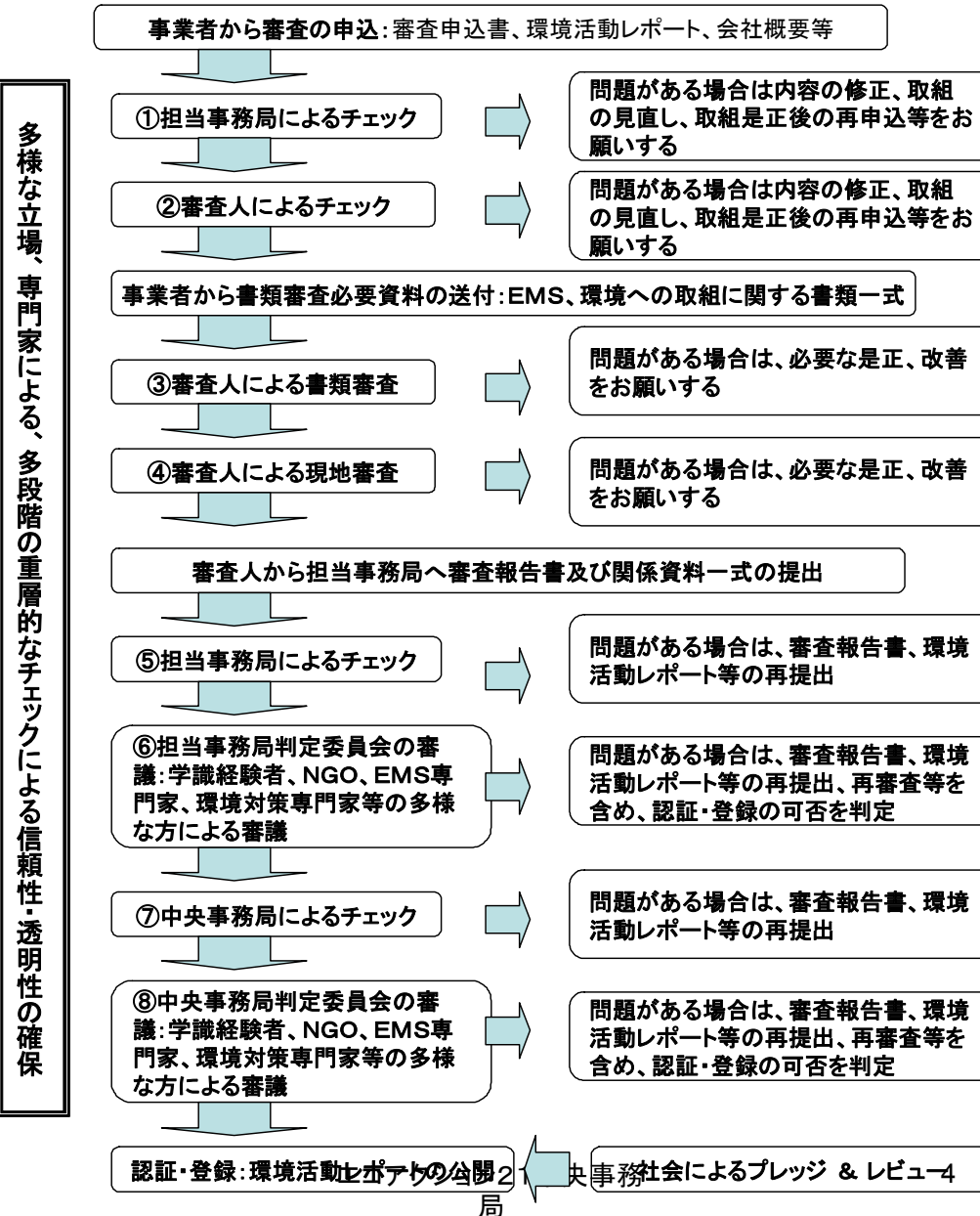


エコアクション21認証・登録(判定)に当たっての基準

認証・登録の範囲(組織・サイト、活動)が事業活動及び環境活動レポートと整合している



エコアクション21の審査及び認証・登録(判定) に当たってのチェック体制



ガイドラインへの 適合性

- ・EMSの構築・運用
についての適合性
- ・定めた手続き、ルー
ルへの適合性
- ・決められた環境への
取組内容への適合性

形式的・外形的な審査、
重箱の隅をつつく審査
になりがち

取組の有効性

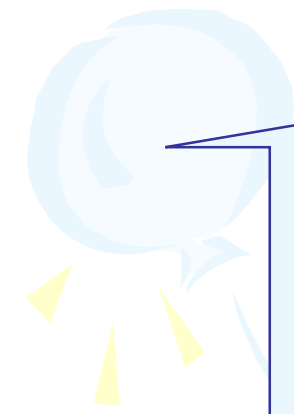
- ・策定した方針、目標、
計画の有効性（原則
として決めるのは自
分自身）
- ・成果（パフォーマンス）の有効性

取組の内容やレベル
については、価値観に
より異なることがある



環境への取り組みは両輪で

本業（製品・サービス）における環境配慮



「より良い環境の創出」
「我々自身の環境への取り組み」
の2つが両輪



工場・事務所における環境配慮